

# 血と骨



■ 國 崔洋一 園 梁石日 04/日  
■ ビートたけし / 数木京香 / 新井浩文 2h24  
■ 田畑智子 / オダギリジョー / 松重豊 R-15

1923年。一攫千金を夢見て朝鮮から大阪に渡ってきた金俊平の鮮烈にして壮絶な生き様を赤裸々に描く。妻を力ずくで手に入れ、暴力で家庭を支配し、家族のすぐ近くに愛人を囲う…。そんな怪物と呼ばれた男の怒濤の人生を軸に、凄まじい人間の業と、連綿と受け継がれる血の繋がりを克明に映し出した圧巻の一本だ。

# 透光の樹



■ 國 根岸吉太郎 園 高樹のぶ子 03/日  
■ 秋吉久美子 / 永島敏行 / 吉行和子 2h01  
■ 平田満 / 田山涼成 / 村上淳 R-18

父々に日本映画に生まれた本格的な大人の純愛映画。高樹のぶ子のベストセラーを基に、名匠根岸吉太郎が濃密に描いた。生活に追われる千桐は25年ぶりに出会った今井郷と最初で最後の愛に賭ける。古都金沢とその周辺を舞台に命をかけた愛に溺れる女を演じたのは秋吉久美子。50歳にして妖艶の極みに…。

# オールド・ボーイ

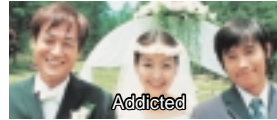


■ 國 バク・チャヌク 03/日  
■ チェ・ミンシク / ユ・ジテ / カン・ヘジョン 2h00  
04年カンヌ国際映画祭グランプリ受賞 R-15

問1：なぜオ・デスは15年監禁されたのか？問2：監禁したのは誰か？復讐を誓うデスに示されるヒント。今までの人生を全て復習しろ。監禁した理由は口数が多すぎるから。重要なのは「なぜ監禁したのか」ではなく「なぜ解放したのか」だ。想像を絶する結末にあなたは辿り着けるか。さあ、この謎に挑め！

# 「誰にでも秘密がある」公開記念！！ ～ イ・ピョンホン特集 ～

## 純愛中毒



■ 國 バク・ヨンファン 02/日  
■ イ・ピョンホン / ノイ・ミョン 1h54

同時刻に事故に遭遇した兄弟。ともに昏睡状態のまま1年、奇跡的に意識を取り戻した弟には、兄の魂が宿っていた。妻への熱い想いと共に…。「この世で俺以上に君を愛せる奴はいないだから…戻ってきた。大ブームの韓国ドラマ。その興奮と感動が凝縮された激情の傑作が再び登場。あのピョンホンにまた会える。

## JSA



■ 國 バク・チャヌク 00/日  
■ イ・ピョンホン / ソン・ガンホ 1h50

端正な容姿とキラースマイルで大人気のイ・ピョンホンが、韓国と北朝鮮の南北問題をテーマに兵士を演じた2000年の大作。38度線上で起こった殺人事件をきっかけとして描かれるサスペンスは、目を離すことのできない巧妙さ。事件の真相に迫っていくほど浮きぼりになる人物像が、それをひきたてる。展開に注目。

# レディースデーが 水曜日になりました。

夫夫婦50割引が好評です。また今月から、ファミリー・ショー割引等、新たな割引制度も実施されます。プレミアム会員の延長手続も11月いっぱい입니다。映画を楽しむのに、山形の映画状況をさらにいよものに！ご協力ください。

建設的なご意見、ありましたら、早急にお願いします。(フオーラム&ソラリス 代表 長澤裕二)

これまでは、中心街を空洞化させないようにと、駅西口の再開発の中で増館を考えたをいっししたが、山形の顔となるような食と文化の会館をきましつつ、山形にありませんかと言がけし、地場企業の協力もままならず、難行しています。お客様が無料で使える十分な駐車場を前提に考えると、これまでかたくなに、検討することすら拒んできた、郊外も視野に入れて考えたいと、いたずらに時間だけが過ぎていきます。郊外に門戸を開けば今すぐ可能なところがいっつも寄せられてきます。観客のことを考えれば次のステップは、来年中の営業開始が望ましいと思っております。長く悩んでいる余裕はありません。今年中に候補地を決定してすぐに設計・建設に取りかかりたいと考えています。建設的なご意見、ありましたら、早急にお願いします。

今年のお正月映画の大本命はもちろん「ハウルの動く城」ですが、その強力な対抗作品が「Mr. インクレディブル」です。日本が世界に誇る「宮崎アニメ」に對抗できるのは、「トイ・ストーリー」「バグズ・ライフ」「モンスターズ・インク」「ファインディング・ニモ」と毎回大ヒットを飛ばし、今や世界一のアニメスタリオとなったピクサー以外ありません。先日、試写を観ましたが、すっごく面白い！ひまよんとすると本当に「ハウル」をおびやかす程の対抗作品になるかもいれない。12月4日からのソラリスの上映は、日本語吹替版プリントを2本用意して、2スクリーンで上映します。これは、「ハウル」…とほぼ同数の座席数を確保するためです。「ハウル」は、1プリントでの土日祭日に限定した2スクリーン上映です。ソラリスは決して座席数もスクリーン数も充分な映画館ではありません。しかし、最大限上映回数を増やすことで混雑の緩和、サービスの向上に努めたいと思います。さて、お正月第2弾での公開が予定されていた「カンフー・ハッスル」の公開日が繰り上がって、お正月元旦からのロードショー公開の可能性が出てきました。この映画は一昨年6月に公開した「少林サッカー」の第2弾とも云々すべきで、あの荒唐無稽さが、随所に登場も、ハチヤメチャなカンフー映画で、お正月にはピッタリのお目出たい映画です。遅くとも11月中には公開日も確定するはず。ご期待下さい。

# MESSAGE FOR FORUM